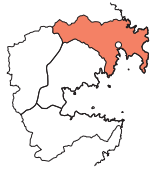


ポストがつかないだ絆



▲南三陸町歌津から流されたポストが太平洋を漂流後、沖縄の人たちの支援で歌津に返還された。写真提供 (株)南三陸まちづくり未来

南三陸町では、東日本大震災で発生した大津波により、多くの命や思い出のつまった様々なものが海へ流されていった。歌津地区のコンビニエンスストアの前にあった郵便ポストもそのひとつだった。変わり果てた南三陸町の姿を悲痛な思いで見つめながら、なんとかふるさとを復興させたいと歩んでいた住民たちのもとに、信じられないようなニュースが飛び込んだ。

歌津地区から津波で海に流されたポストが、太平洋を1年9カ月漂流した末に、2,400キロメートルも離れた沖縄県の西表島北東部ユツン川河口付近に流れ着いた。

砂まみれで傷だらけになったそのポストは、沖縄の多くの方々の尽力により、2013（平成25）年8月11日、歌津に返還された。たった一つのポストを宝物を扱うように返還してくれた沖縄の人たちのやさしさが、私たちの胸を打った。このニュースは全国の人たちにも大きな感動を与えた。

ポストがつかないだ絆を祝おうと住民たちの手で「歌津復興夏まつり」が開催された。手紙が入ってなくてもポストは目には見えないあたたかなメッセージを届けてくれた。沖縄と歌津地区の住民たちの心が強い絆で結ばれた。

